平成 25 年度対セネガル草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ゴロム第 1 村農作物加工研修施設建設計画」

「ゴロム第 1 村農作物加工研修施設建設計画」(85,119 ユーロ(約 910 万円))では、セネガルに本部を置き、西アフリカ 16 か国で女性の社会的・経済的自立を目標に識字教育、リーダーシップ研修、農作物加工研修等を実施している西アフリカ女性連盟セネガル事務所に対して、宿泊施設を備えた農作物加工研修施設等の整備を行います。
セネガルの女性を取り巻く環境は厳しく、職業の選択肢は限られたものとなっています。同団体は、現在ルフィスク県ゴロム第 1 村に食品加工実技研修施設を有し、女性向けに農作物加工研修を行っています。しかしながら、研修施設は実習用であり、品質管理・衛生管理等の座学を行う場所がなく、研修が十分に行われてきませんでした。また、研修生は遠方から通うケースが多く、5 日間に渡る研修に毎日参加するために往復時間がかかり過ぎることや体力の消耗が激しいことが問題となっていました。
本計画では、宿泊設備を備えた座学研修施設を整備することで、研修生の通学の負担を軽減し、研修環境が改善することが期待されます。1 次産品を加工する技術を習得することは、女性たちが生計をたてる上で重要な一助となり得るとともに、農業国セネガルにおける農作物の有効活用という点においても有意義です。

左:西アフリカ女性連盟セネガル事務所ハディ・ファル・タル代表
右:北原大使